

報道関係各位

新型コロナウイルス感染症に対する次世代 mRNA ワクチン（レプリコン） 「コスタイベ[®]筋注用」の市販直後調査 第6回結果報告

わたしたち製薬企業には、新しい医薬品やワクチンが承認された場合、販売開始から6ヵ月間、適正使用情報の伝達を徹底し、加えて副作用や副反応の発生状況を速やかに把握し必要な安全対策を実行することで、未知または重篤な副作用（副反応）等による被害を最小限にすることを目的とした市販直後調査が義務付けられています。

Meiji Seika ファルマは、10月1日より定期接種（B類）になったコスタイベ[®]筋注用の市販直後調査を実施しています。市販直後調査等の活動を通して収集した副反応を「市販直後調査 第6回結果報告（販売開始から6ヵ月間）」としてまとめましたので、以下の通りご報告します。

1. 市販直後調査の概要

製品名：コスタイベ[®]筋注用

効能・効果：SARS-CoV-2による感染症の予防

調査実施期間：2024年9月30日（販売開始日）～2025年3月29日

集計期間：販売開始後6ヵ月間

2. 副反応収集状況

本剤販売開始日から6ヵ月間に収集した有害事象のうち本剤との因果関係を否定できない副反応は705例2881件（うち死亡2例）であった（表1）。そのうち重篤な副反応は8例11件で、内訳は電子化された添付文書の「使用上の注意」から予測できる既知の副反応が2件、予測できない未知の副反応が9件であった。なお、死亡例について今回は3例であったが今回新たに1例報告され、計4例となり、うち2例は因果関係が否定されたため、計2例となった。

また、使用成績調査の進捗に伴い、収集件数が増加している。

表1. 副反応件数集計表（集計期間：2024年9月30日～2025年3月29日）

器官別大分類	副反応名 (MedDRA/J 基本語)	重篤	非重篤	合計
胃腸障害	悪心	0	46	46
	下痢	0	51	51
	* 口内炎	0	3	3
	* 歯痛	0	2	2

器官別大分類	副反応名 (MedDRA/J 基本語)	重篤	非重篤	合計
	上腹部痛	0	1	1
	* 吐血	1	0	1
	軟便	0	1	1
	* 白色便	0	1	1
	腹痛	0	8	8
	腹部不快感	0	3	3
	嘔吐	0	5	5
一般・全身障害および投与部位の状態	悪寒	0	180	180
	異常感	0	3	3
	* 胸痛	0	17	17
	倦怠感	0	308	308
	* 口渇	0	3	3
	* 死亡	1	0	1
	注射部位そう痒感	0	7	7
	注射部位硬結	0	81	81
	注射部位紅斑	0	77	77
	注射部位腫脹	0	120	120
	* 注射部位内出血	0	1	1
	* 注射部位熱感	0	4	4
	注射部位疼痛	0	848	848
	発熱	2	319	321
	* 末梢腫脹	0	1	1
	* 疼痛	0	1	1
	* 腋窩痛	0	4	4
感染症および寄生虫症	* COVID-19	0	1	1
	* インフルエンザ	0	1	1
	* 誤嚥性肺炎	2	0	2
	* 口腔ヘルペス	0	1	1
	* 上咽頭炎	0	1	1
	* 中耳炎	0	1	1
	* 鼻炎	0	1	1
	* 膀胱炎	0	1	1
眼障害	* 視力障害	0	1	1
筋骨格系および結合組織障害	関節痛	0	150	150
	* 筋緊張	0	1	1

器官別大分類	副反応名 (MedDRA/J 基本語)	重篤	非重篤	合計
	* 筋骨格硬直	0	2	2
	筋肉痛	0	192	192
	* 筋力低下	0	26	26
	* 筋痙縮	0	1	1
	* 頸部痛	0	2	2
	側腹部痛	0	1	1
	背部痛	0	6	6
血液およびリンパ系障害	* リンパ節症	0	3	3
	* リンパ節痛	0	2	2
呼吸器、胸郭および縦隔障害	* くしゃみ	0	1	1
	咳嗽	0	4	4
	* 呼吸困難	0	12	12
	* 呼吸不全	1	0	1
	口腔咽頭痛	0	10	10
	* 口腔咽頭不快感	0	2	2
	* 喉頭浮腫	0	1	1
	湿性咳嗽	0	3	3
	* 新生児一過性頻呼吸	1	0	1
	* 鼻閉	0	2	2
	鼻漏	0	9	9
	* 痰貯留	0	1	1
耳および迷路障害	* 耳異常感覚	0	1	1
	* 耳痛	0	1	1
	* 耳鳴	0	1	1
	* 聴覚障害	0	1	1
	* 突発性難聴	0	1	1
心臓障害	* 高拍出性心不全	2	0	2
	動悸	0	2	2
	* 頻脈	0	2	2
神経系障害	感覚鈍麻	0	1	1
	傾眠	0	18	18
	* 睡眠不足	0	1	1
	頭痛	0	241	241
	* 脳梗塞	1	0	1
	浮動性めまい	0	39	39

器官別大分類	副反応名 (MedDRA/J 基本語)	重篤	非重篤	合計
腎および尿路障害	* 血尿	0	1	1
	* 頻尿	0	2	2
生殖系および乳房障害	* 月経中間期出血	0	1	1
	* 不規則月経	0	1	1
精神障害	* 不眠症	0	1	1
代謝および栄養障害	* 食欲減退	0	2	2
皮膚および皮下組織障害	* ざ瘡	0	1	1
	そう痒症	0	6	6
	紅斑	0	1	1
	発疹	0	1	1
	* 皮下出血	0	1	1
	* 蕁麻疹	0	1	1
臨床検査	* 肝機能検査異常	0	3	3
	* 血圧上昇	0	1	1
	* 血圧低下	0	1	1
	* 心拍数減少	0	1	1
	* 心拍数増加	0	2	2
総計		11	2870	2881

* : 「使用上の注意」から予測できない副反応
(MedDRA/J version27.1)

注) 重篤症例として「誤嚥性肺炎」「高拍出性心不全」「発熱」を各2例、「死亡」「呼吸不全」「脳梗塞」「吐血」「新生児一過性頻呼吸」を各1例(ただし「誤嚥性肺炎」及び「呼吸不全」及び「発熱」、並びに「誤嚥性肺炎」及び「発熱」はそれぞれ同一症例である。)収集した。各症例について詳細を以下に示す。4)「誤嚥性肺炎」、7)「急性腎盂腎炎」は転院先からの追加情報により本剤との因果関係が否定されたため、表1からは削除したが、以下の説明には第5回中間報告以降に入手した情報を追記した。なお、報告医師のコメントには報告いただいた表現を使用している。

- 1) 「高拍出性心不全」96歳女性。基礎疾患等：高血圧症、慢性胃炎。既往歴、アレルギー一歴、副作用歴等：なし。特別養護老人ホームの入居者。本剤接種1日後、発熱(38.3℃)を認めた。本剤接種2日後、頻呼吸、SpO2低下(88%)を認め、外来受診した。高熱に伴い、循環血液の増加による高拍出性心不全が起きていると診断され、利尿剤が投与された。また、感染症による発熱も考慮して抗菌剤及び解熱剤が投与された。本剤接種3日後、体温(36.3℃)、SpO2(94%)と、ともに回復し、食事もとれるようになった。本剤接種7日後、以前の状態まで回復した。

Meiji Seika ファルマ株式会社

- 2) 「高拍出性心不全」90歳女性。基礎疾患等：慢性心不全、狭心症、糖尿病。既往歴、アレルギー歴、副作用歴等：なし。特別養護老人ホームの入居者。本剤接種3日後、発熱(38.7°C)、頻脈(150回/分)、SpO2低下(85%)、悪寒、息切れ、喘鳴があり、外来受診。医師は発熱をきっかけに循環血液量の増加が起こったと考え、慢性心不全の増悪と診断。利尿剤と、感染症も考慮して抗菌剤及び解熱剤が投与された。本剤接種5日後、37°C台に解熱しはじめる。本剤接種14日後、本剤接種前と同じ、平熱まで解熱し、SpO2も上昇したため、回復と判断した。
- 3) 「誤嚥性肺炎」、「発熱」80歳男性。基礎疾患等：脳血管性認知症。既往歴：大腸癌、誤嚥性肺炎。ワクチン副反応歴：発熱。アレルギー歴：なし。接種前体温：36.3°C。特別養護老人ホームの入居者。本剤接種当日、発熱(37.5°C)を認めた。本剤接種2日後、体温が39.4°Cまで上昇し、解熱・鎮痛薬の内服を開始した。本剤接種3日後、徐々に食事摂取量が減少し、貯痰音が出現した。本剤接種5日後、傾眠傾向、SaO2 88~89%、貯痰音著明になり入院し、誤嚥性肺炎の診断で抗生剤投与を開始した。その後、解熱、酸素化改善し、本剤接種13日後に抗生剤を中止した。本剤接種27日後に回復した。
- 4) 「誤嚥性肺炎」88歳男性。基礎疾患等：高血圧症、認知症。既往歴：イレウス。特別養護老人ホームの入居者。本剤接種20日後、施設入所者の方で肺炎症状が見られた。本剤接種21日後に肺炎症状悪化により他院に転院した。本剤接種24日後、亡くなられた。
報告医師：転院先の医師はワクチンとの因果関係を否定しており、特別養護老人ホームの入居者であることや本剤接種してから発現までの時間的経過を鑑みて関連性はない。
- 5) 「脳梗塞」97歳女性。既往歴：心房細動、左大腿骨転子部骨折。老健施設で本剤接種。本剤接種8日後、未明に心原性脳梗塞の疑いで他院へ搬送され入院した。最新情報入手時点において入院中か退院しているかは不明である。
- 6) 「誤嚥性肺炎」、「呼吸不全」、「発熱」68歳女性。基礎疾患等：脳出血後遺症、症候性てんかん、高血圧症。既往歴：右視床出血、誤嚥性肺炎。ワクチン副反応歴：発熱。アレルギー歴：なし。接種前体温：36.0°C。脳出血の後遺症で寝たきりになり、特別養護老人ホームに入所中。本剤接種1日後、発熱(38.9°C)を認め、解熱・鎮痛薬を投与した。本剤接種2日後、呼吸状態悪化、努力様呼吸、SaO2低下(88~93%)を認めた。本剤接種3日後、発熱(38.1°C)持続、顔面紅潮、努力様呼吸、無呼吸があり、脈圧弱く触診にて88mmHg、SaO2低下(88%)を示し、呼吸状態悪化のため入院した。誤嚥性肺炎の診断で抗生剤投与を開始し、徐々に解熱したため、本剤接種9日後に抗生剤投与を中止した。本剤接種20日後に回復し、退院した。
- 7) 「急性腎盂腎炎」70歳男性。基礎疾患等：肝機能障害。既往歴：パーキンソン病、脳梗塞。特別養護老人ホームの入居者。本剤接種25日後、尿の出血、倦怠感、食欲低下が見られた。本剤接種26日後、食事がとれず、尿路感染症により施設から他院に転院した。その後、急性腎盂腎炎と診断され抗生剤で治療したがイレウスを併発した。本剤接種28日後、急性腎盂腎炎の悪化により生じた敗血症性ショックで亡くなられた。
報告医師：転院先の医師はワクチンとの因果関係を否定しており、本剤接種してから発現までの時間的経過を鑑みて関連性はない。

8) 「死亡」71歳女性。基礎疾患等：なし。既往歴：慢性心不全、大動脈弁閉鎖不全症、高血圧症。アレルギー歴：なし。接種21日後に死亡。死因及び死亡に至る経緯等の情報は不明。

報告医師：死因や死亡に至る経緯を把握できないが、接種後何かあれば連絡するよう被接種者に伝えていたものの、副反応の報告等の連絡はなかったこと、及び被接種者の家族から電話を受けた際に、定期通院による治療に対する感謝と亡くなったことのみ話されたことから、コストイベとの因果関係は無いと考えている。

9) 「吐血」101歳女性。基礎疾患等：慢性心不全、便秘、認知症、変形性膝関節症。既往歴：高血圧、心房細動。要介護度5、ADL自立度C-2、特別養護老人ホームの入居者。本剤接種約半月前から、食欲低下があり、本剤接種当日の午前中、食事を拒否し継続服用していた薬剤も舌で押し出すようになった（本剤接種は午後）。本剤接種後に発熱なし。本剤接種11日後、食事量が明らかに低下した。本剤接種17日後、点滴にて食事補助を実施した。本剤接種18日後、入所先にて茶褐色の吐血が認められ、3時間後に呼吸停止、入所先で死亡が確認された。

報告医師：剖検をしていないため正確な死因は不明だが、吐血が死因と考える。茶褐色の嘔吐物が確認されており、当時の状況から消化管からの出血と考えられるが、検査したわけではないため「消化管出血疑い」である。基礎疾患や本剤接種との因果関係は判断できないが、消化管出血を引き起こす可能性のある薬物投与は行っていないため、本剤との因果関係は否定できないと考える。

10) 「新生児一過性頻呼吸」0歳女児。妊娠週数37週（母親への本剤接種46日後）に正常分娩にて出生後、新生児一過性多呼吸によりNICUにて酸素吸入及び点滴をうけた。出生14日後に回復し退院した。報告医師からは非重篤と報告を受けたがNICUで治療を受けたことにより企業評価は重篤とした。

今後も市販直後調査をはじめとした安全性に関する情報は、速やかにメディアの皆様へ報告させていただきます。

以上